

証券コード 5411

JFEホールディングス 会社説明会 ～JFEグループの強みと成長戦略～

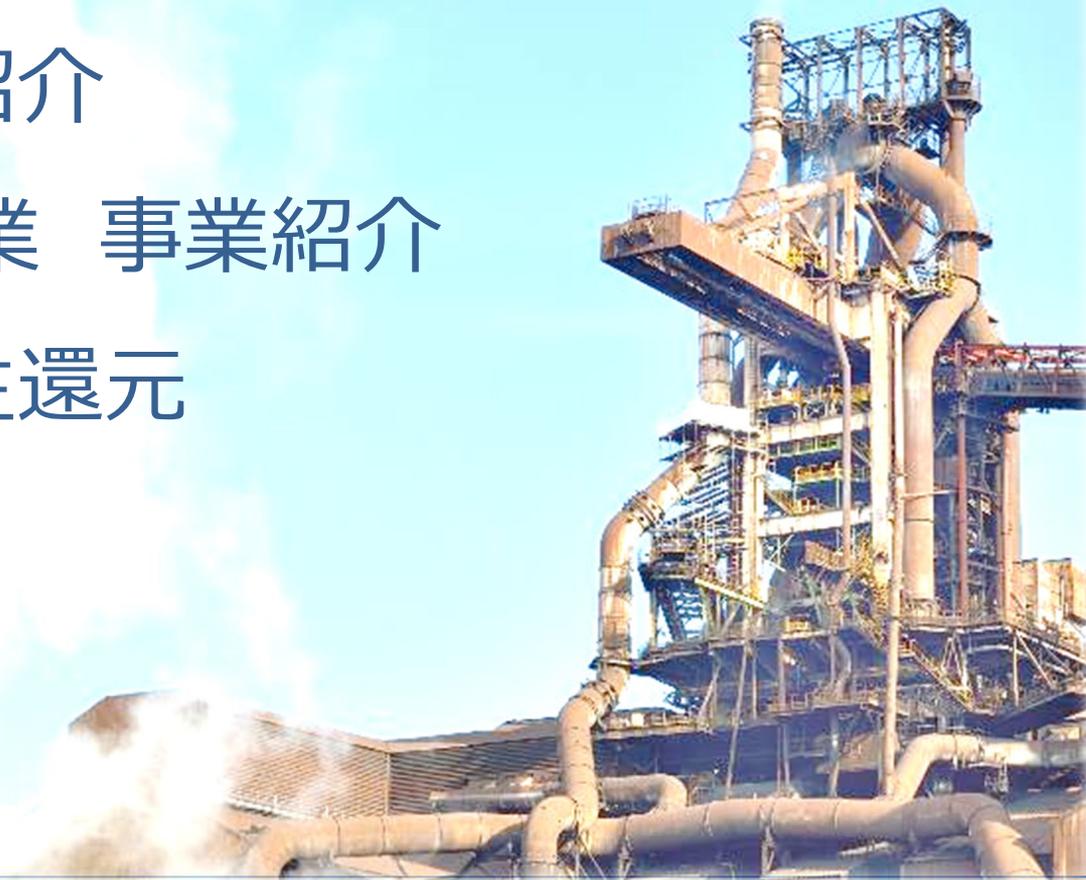
2021年9月27日 個人投資家向けWeb説明会

専務執行役員 田中利弘

SMB C日興証券株式会社主催



1. J F Eグループの概要
2. 鉄鋼事業 業界・事業紹介
3. 商社事業 事業紹介
4. エンジニアリング事業 事業紹介
5. グループ収益・株主還元





JFEグループの概要

JFE

会社沿革

川崎製鉄

NKK
(日本鋼管)

2002年9月に経営統合

JFEホールディングス

2003年4月傘下事業を再編

社名の由来



JFE

J 日本 (**Japan**)

F 鉄鋼 (鉄の元素記号**Fe**)

E インジニアリング (**Engineering**)

「鉄」を起点とする商品、サービスを通じて、産業・社会の発展に貢献

粗鋼生産量(2020年) 24.4百万トン (日本2位、世界14位)



JFE

J F Eホールディングスの事業構成

J F Eホールディングス

100%

J F E
スチール

J F E
エンジニアリング

J F E
商事

35%

持分法適用会社

I H I

今治造船

35%

30%



JMU ジャパンマリンユナイテッド

鉄鋼事業

2兆2,552億円

商社事業

9,325億円

グループ総売上収益

3兆2,272億円

(2020年度IFRS)

エンジニアリング事業

4,857億円

※調整額：▽4,461億円

グループ海外拠点

22か国109拠点

従業員数(連結)

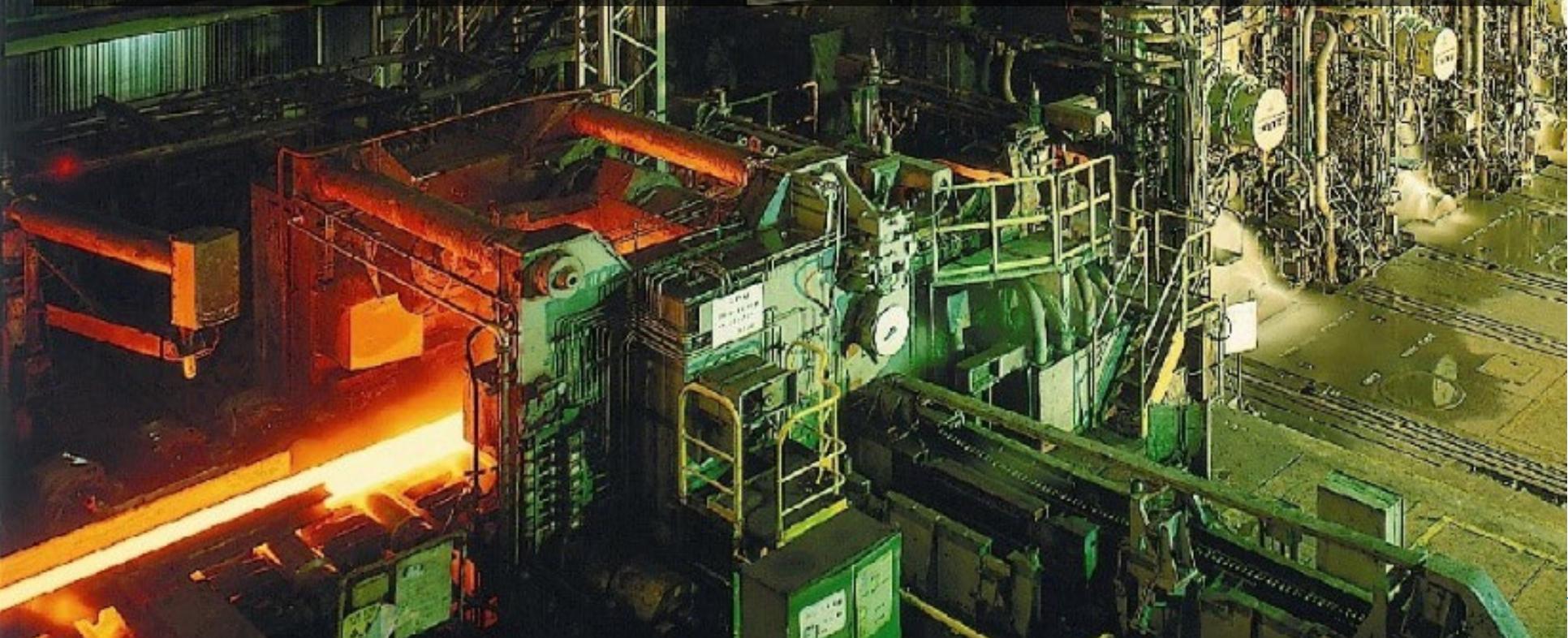
64,371人

(2020年度3月末)

JFEスチール 業界・事業紹介

「鉄」に価値と性能を与える

～海外から輸入した原材料から高機能鉄鋼製品を生み出す～





「鉄」という素材の魅力

JFE

1. あらゆる産業の基盤素材として使用される裾野の広さ

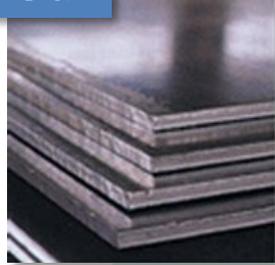
鉄鋼メーカー



薄板



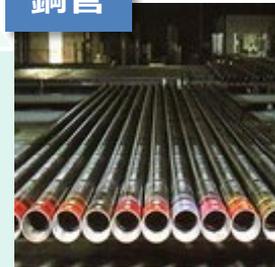
厚板



形鋼



鋼管



棒線



自動車



造船



建機



プラント



製缶



家電



パイプライン



建築物





「鉄」という素材の魅力

JFE

2. 他素材に勝る特性

- ◆ **低コストで大量生産が可能**
リーズナブルな価格で
安定的に大量供給されるからこそ
さまざまな分野で使用される
- ◆ **圧倒的な加工のしやすさ**
- ◆ **他素材に比べ、低い環境負荷**

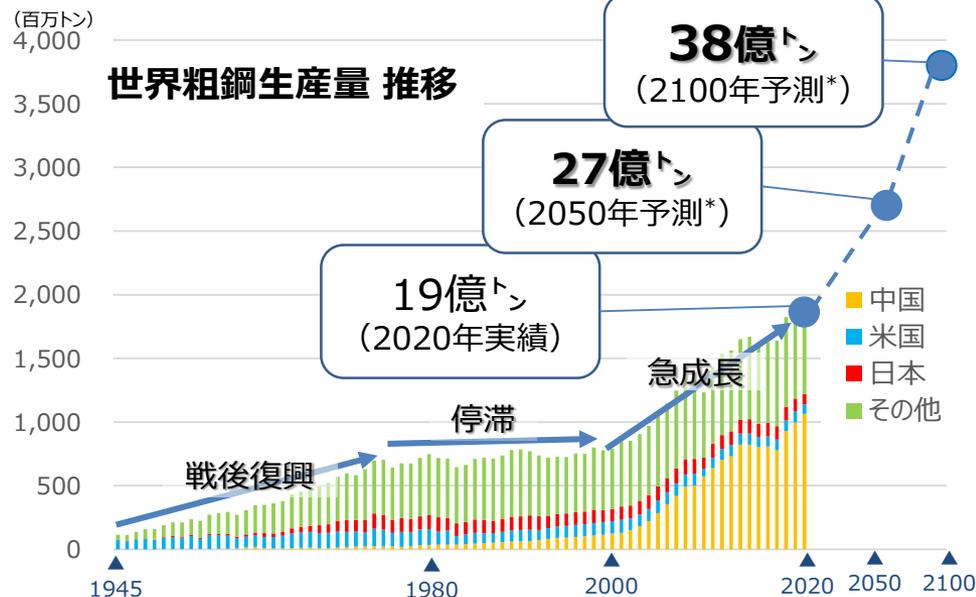
	鉄鋼	アルミニウム	炭素繊維
世界年間生産量* (2020年)	約 19億 トン	約 6,500万 トン	約 13万 トン
価格 (自動車向け板材 鉄鋼 = 1)	1	5~8	30~100
溶接加工	容易	大電流が必要	困難
単位当たりCO2排出	1	5~9	11

(*World Steel Association, World Aluminum)

3. グローバルベースでの成長可能性

- ◆ **新興国の経済成長に伴い、
長期的には世界全体の
鉄鋼需要は今後も成長を続ける**

2100年には世界粗鋼生産量は
現状の約2倍になると予想される



(*日本鉄鋼連盟予測)



JFEスチールの3つの強み

JFE

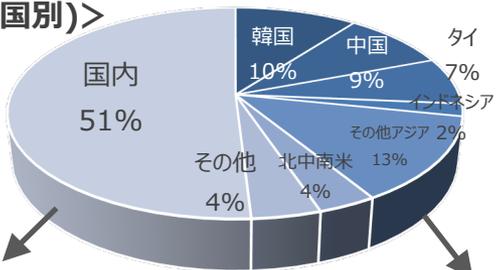
1. 製鉄所の競争力 集約された大規模製鉄所

JFEスチールの生産拠点

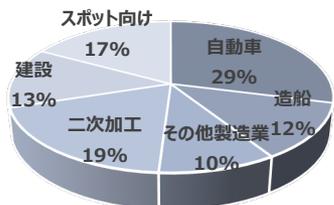


2. 安定したお客様基盤

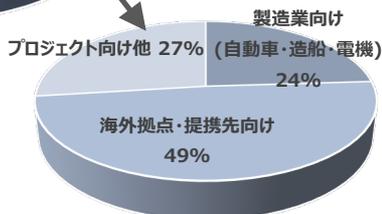
<出荷先内訳(国別)>
(20年度実績)



<国内出荷先>



<輸出出荷先>



3. 技術開発

自動車メーカー・部品メーカーとの共同研究施設
Customers' Solution Laboratory (CSL)





JFE

JFEスチールの中長期戦略

JFEスチールを取り巻く環境は急激かつ大幅な変化の途上
長期の持続的成長のために、創立以来最大の変革が必要
経営環境変化に耐えうる強靱な経営基盤確保に取り組む

<中期的な事業環境見込み>

社会課題

気候変動問題対応について
関心・要求の高まり



<主要施策>

2050年カーボンニュートラル
達成に寄与する技術開発

～3つの「エコ」による
CO₂排出量の削減～

環境的
持続性

国内市場

人口減少を背景に
需要減少

輸出市場

汎用品の価格競争激化
鋼材地産地消の潮流



量から質への転換

- 高付加価値品生産へのシフト
- 固定費の削減

海外事業の成長加速・拡大

- ソリューションビジネスの拡大

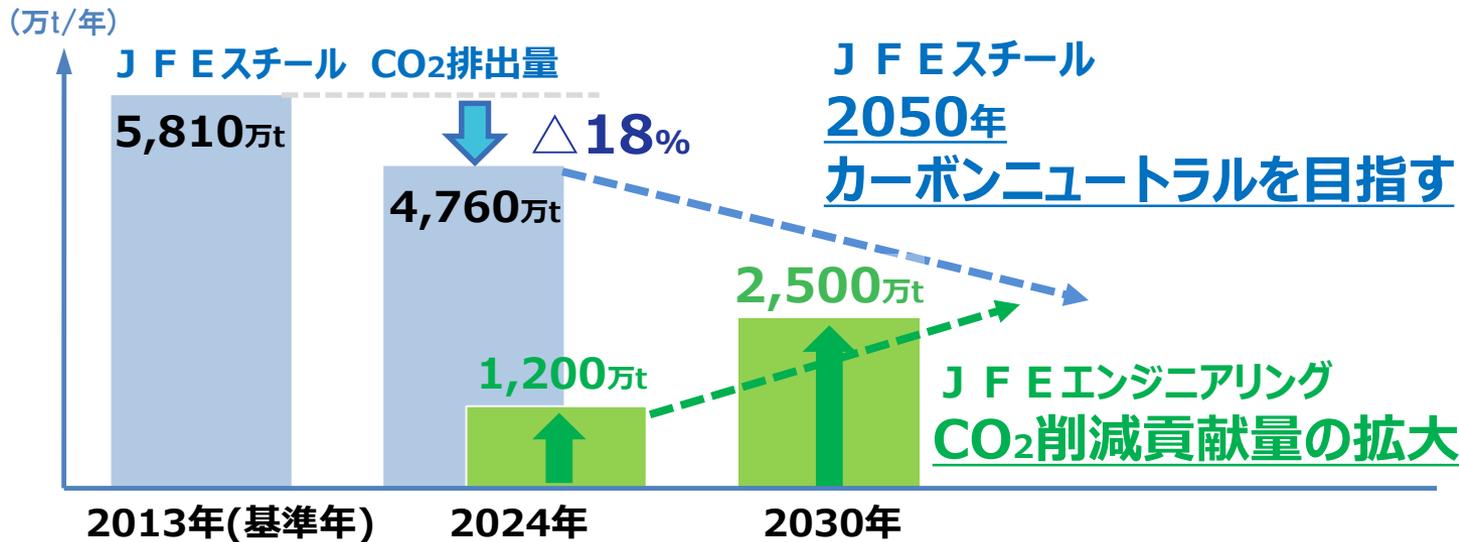
経済的
持続性



JFE

JFEグループ CO₂削減目標

鉄鋼部門
14% 1億5,500万t



環境省発表
2019年度温室効果ガス排出量（確報値）

“3つのエコ”でCO₂排出削減を目指す

エコ プロセス

最先端技術の導入により
製鉄プロセスの
CO₂排出削減

エコ プロダクト

高機能鋼材による
使用段階での削減貢献
電磁鋼板・自動車用ハイテン
洋上風力用鋼材 等

エコ ソリューション

省エネ技術・設備の
普及による地球規模
での削減貢献



製鉄プロセスの脱炭素化達成のための技術開発には、複数のアプローチが存在
いずれの方法にも優位性と課題があり、**どれも技術的に確立されていない**
技術確立までは**多様な技術の複線的な開発が必要**

高炉 技術



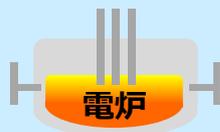
- ・カーボンリサイクル高炉
 - ・COURSE50、Super-COURSE50
- 課題 水素吸熱反応、余剰CO₂の活用

直接 還元 技術



- ・水素製鉄(直接還元)
- 課題 水素吸熱反応、原料制約

電炉 技術



- ・電気炉
- 課題 生産性向上、高級鋼製造、
電力コスト、冷鉄源拡大

グリーン水素・グリーン電力
安価安定大量供給

カーボンニュートラル

当社独自技術である**カーボンリサイクル高炉**をはじめとして
超革新技术を世界の競合他社に先駆けて、可能な限り早い時期に確立



JFE

環境配慮型商品の開発・拡販を通じて、社会全体CO₂削減に貢献

環境
配慮型商品

電磁鋼板



自動車用ハイテン鋼



洋上風力用鋼材



取り組み事例

高級電磁鋼板の製造・販売体制の構築

世界各国で
環境規制の強化や
電動車の推進計画



電動車のモーターに使用される
高級電磁鋼板の需要は急拡大

➤ JFEグループ全体で需要を捕捉、社会全体のCO₂削減に貢献

JFEスチール

高級電磁鋼板の供給体制拡大

国内：電磁鋼板製造設備増強

海外：JSW(印)と電磁鋼板製造・販売合併会社設立を検討

JFE商事

世界No.1の電磁鋼板グローバル加工体制

アライアンスとの協業拡大、新たな地域でのSCM構築、加工機能の深化



収益の源泉を「量(鋼材トン)」から「質(鋼材トン当たり利益)」へシフト
気候変動問題を克服しグローバル競争を勝ち抜く**世界トップレベルの収益力**を追求
2024年度 **鋼材トン当たり1万円、セグメント利益2,300億円**を確保

アクション① 生産体制の最適化

将来の競争力維持のために**スリムで強靱な体制の構築**を目指し、
2023年9月を目途に生産体制を見直し

JFEスチールの生産体制

西日本製鉄所

福山地区

高炉3基

倉敷地区

高炉3基

東日本製鉄所

京浜地区

高炉1→0基

千葉地区

高炉1基

仙台製造所

電気炉1基

知多製造所

鋼管専門工場

- 生産能力削減 粗鋼生産能力 3,000万t → 2,600万t
(**約400万t/年** (約▲13%) 削減)
- 収益改善効果 **約850億円**



アクション②

世界トップレベルの コスト・品質競争力の確保

コスト削減1,200億円/4か年

固定費削減、損益分岐点の引き下げ
DX*推進を通じた新技術の導入



労働生産性向上 + 20%

構造改革効果13%+DX活用等で
1,670→2,000t/人・年
要員体制16,000→13,000人



アクション③

マージンの拡大と安定収益の確保

高付加価値品*比率 50%へ 引き上げ



プロダクトミックスを高度化

- ・電磁鋼板
- ・自動車用ハイテン材
- ・洋上風力用鋼材 等

販売価格の抜本的な見直しを推進

価値に見合った販売価格体系の抜本的
見直しを推進

*DX:デジタルトランスフォーメーション

*技術優位性を有し、お客様から付加価値を認めていただき、汎用品を上回る収益力を持つ商品



- アジア・北米を中心に自動車用鋼板などの**海外製造拠点を保有**
- **成長地域の高炉メーカー（印・越）に出資**し、現地鋼材需要を捕捉



さらなる事業機会の拡大：
脱炭素技術を含めた**技術ソリューションの提供**により、**技術収入**を獲得していく



J F E エンジニアリング 事業紹介



JFE

JFEエンジニアリング 事業紹介

くらしの礎を「創る」「担う」「つなぐ」 Just For the Earth

CO₂排出削減、循環型社会の実現につながる4分野で事業を展開

基幹インフラ

くらしの礎を「創る」ビジネスの
更なる強化

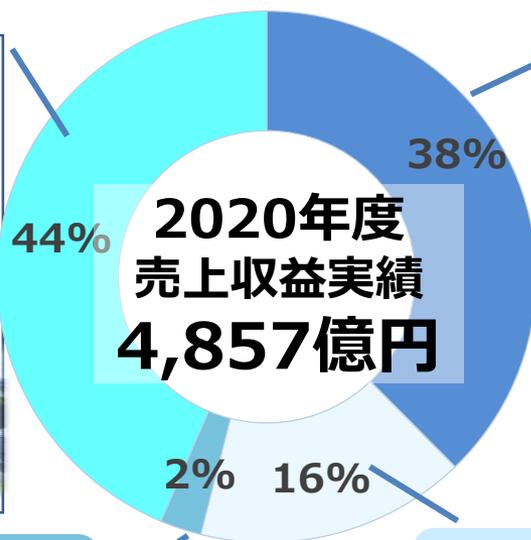
上下水、ガス、橋梁、港湾 等



Waste to Resource

廃棄物資源の有効活用

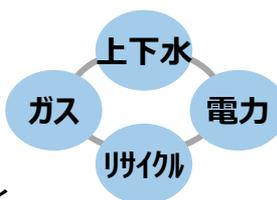
リサイクル事業・廃棄物発電 等



複合ユーティリティサービス

地域課題に即した
多様なサービス提供

ユーティリティ供給事業
サービスメニュー拡大・複合化



カーボンニュートラル

脱炭素、低炭素の実現

バイオマス・太陽光・洋上風力などの再生可能エネルギー





JFE

JFEエンジニアリングの強み

施設の設計・建設に加え、長期の操業・維持管理まで、**提案型一貫サービス**を提供

EPC事業

事業企画の立案
設計・調達・建設

運営型事業

拡大

長期の操業・維持管理
(AI・IoT、ビッグデータの活用)

プラント稼働後も長期にわたって操業に携わることで
事業経営における収益変動リスクは低下し、**安定収益基盤を構築**

遠隔監視による操業支援



グローバルリモートセンター(横浜本社内)



官民連携

自治体



民間

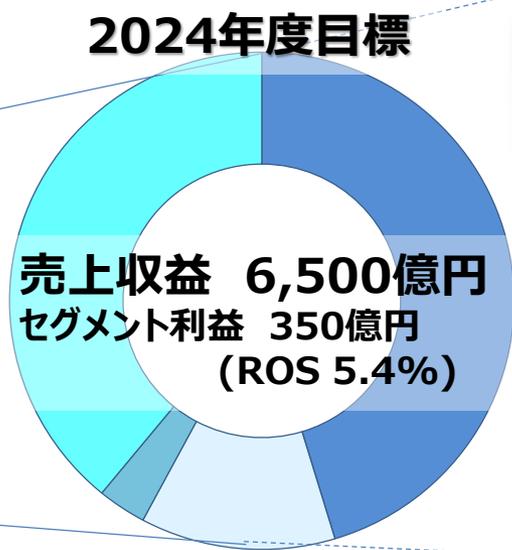
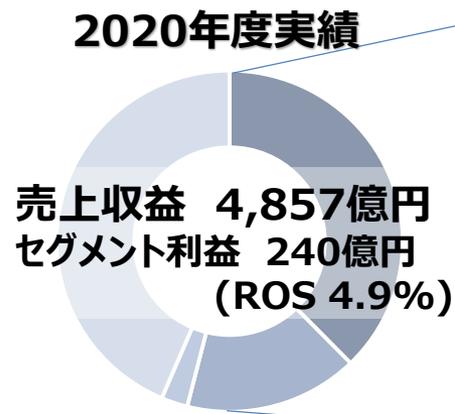
廃棄物処理施設の遠隔監視による
操業支援で**自治体の省力化**や
トラブルへの迅速な対応等に貢献



JFEエンジニアリングの中長期戦略

JFE

- 再生可能エネルギープラントやリサイクルプラント等の普及を推進する等、事業活動を通じて、SDGs達成に貢献できる
- CO₂排出削減、循環型社会の実現につながる分野をグループにおける成長分野として事業規模拡大を通じ、2030年度には売上収益1兆円規模への事業成長をめざす



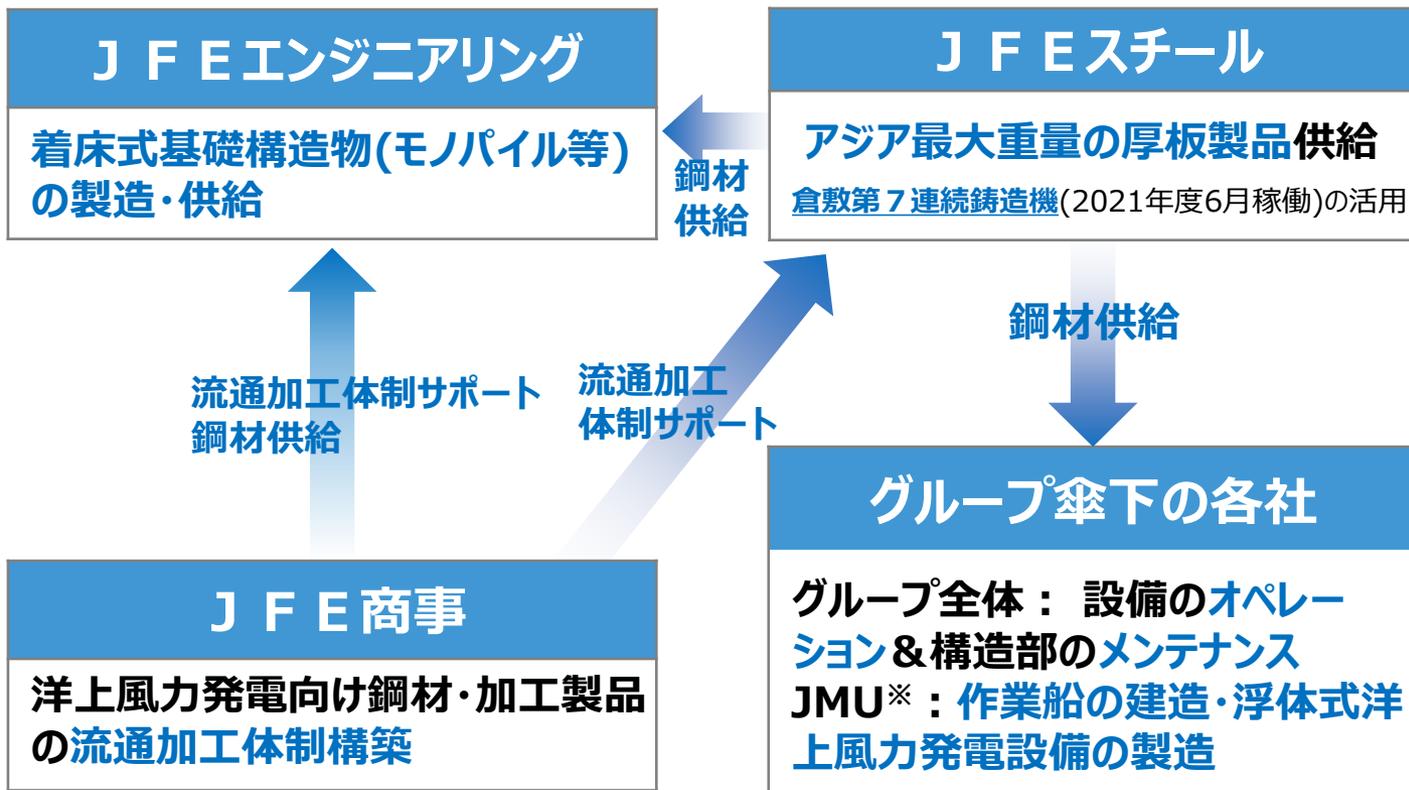
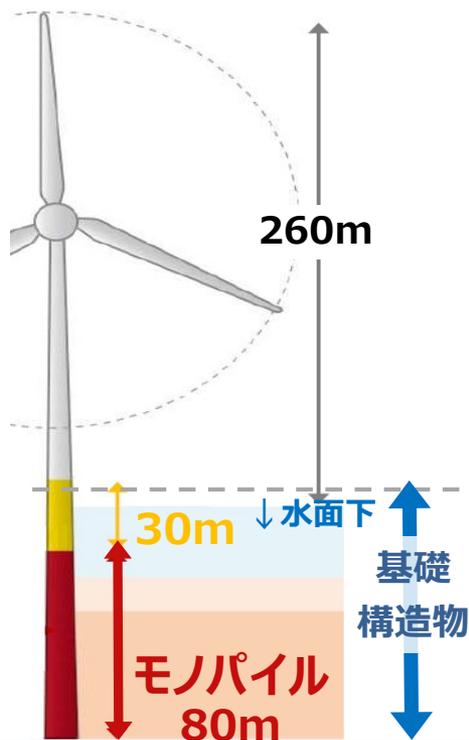


JFE

トピックス：洋上風力発電ビジネスの事業化推進

- 日本政府は、2020年末に「洋上風力産業ビジョン」を発表し、**官民共同での洋上風力の積極的導入**を表明（2040年官民導入量目標：30~45GW）
- JFEグループも**基礎構造物製造を事業化**することにより、洋上風力発電事業における先行者となり、グループ全体でサプライチェーンを構築
- **JFEエンジニアリングを主体として、再生可能エネルギー分野での事業拡大を目指す**

洋上風力発電機
(着床式)模式図



JFE商事 事業紹介





JFE

JFE商事の概要と成長戦略

JFEグループの中核商社としてサプライチェーンを拡充し、成長分野におけるグループの成長基盤を構築

トレード収益

販売・調達機能

- 鉄鋼製品全般
- 鉄鋼原料、資機材
- 食品・エレクトロニクス 等

事業収益

加工・流通機能

- コイルセンター事業
- モーターコア製造
- 造船ブロック加工
- 鋼材販売会社 等

JFEスチールと共に…

電動車などに用いられる**高機能電磁鋼板**の海外加工サプライチェーンを拡充し、**世界No.1のグローバル流通加工体制**を構築

JFEエンジニアリングと共に…

バイオマス発電の燃料となる**パームヤシガラ**をマレーシアやインドネシアから日本へ輸入

JFEグループ全体で…

洋上風力発電向けの鋼材・加工製品の**流通加工体制**を構築



成長分野の需要を確実に捕捉



SCM構築で循環型社会の実現に貢献





グループ収益・株主還元



- 今後は、**選択と集中に基づく効果的な投資**を実行
- 収益貢献度の低い資産や事業についての見直し等により、**資産圧縮**を図る
➔ **投資効果発現と財務健全性の両立**を図る

設備投資 (4カ年累計)	12,000億円程度
事業投資 (4カ年累計)	2,500億円程度
うち、 カーボンニュートラル投資	3,400億円程度
デジタルトランスフォーメーション投資	1,200億円程度

資産圧縮による	
キャッシュ創出 (4カ年累計)	2,000億円程度



2024年度（現中期計画最終年度）財務・収益目標と株主還元方針

JFE

- 中長期成長戦略を着実に実行し、2024年度（現中期計画最終年度）では、下記の財務・収益目標の達成を目指す

連結事業利益 **3,200億円**

セグメント利益	鉄鋼事業	2,300億円
	エンジニアリング事業	350億円
	商社事業	400億円

親会社所有者帰属当期利益 **2,200億円**

ROE **10%**

Debt/EBITDA **3倍程度**

D/E **70%程度**

配当性向 **30%程度**

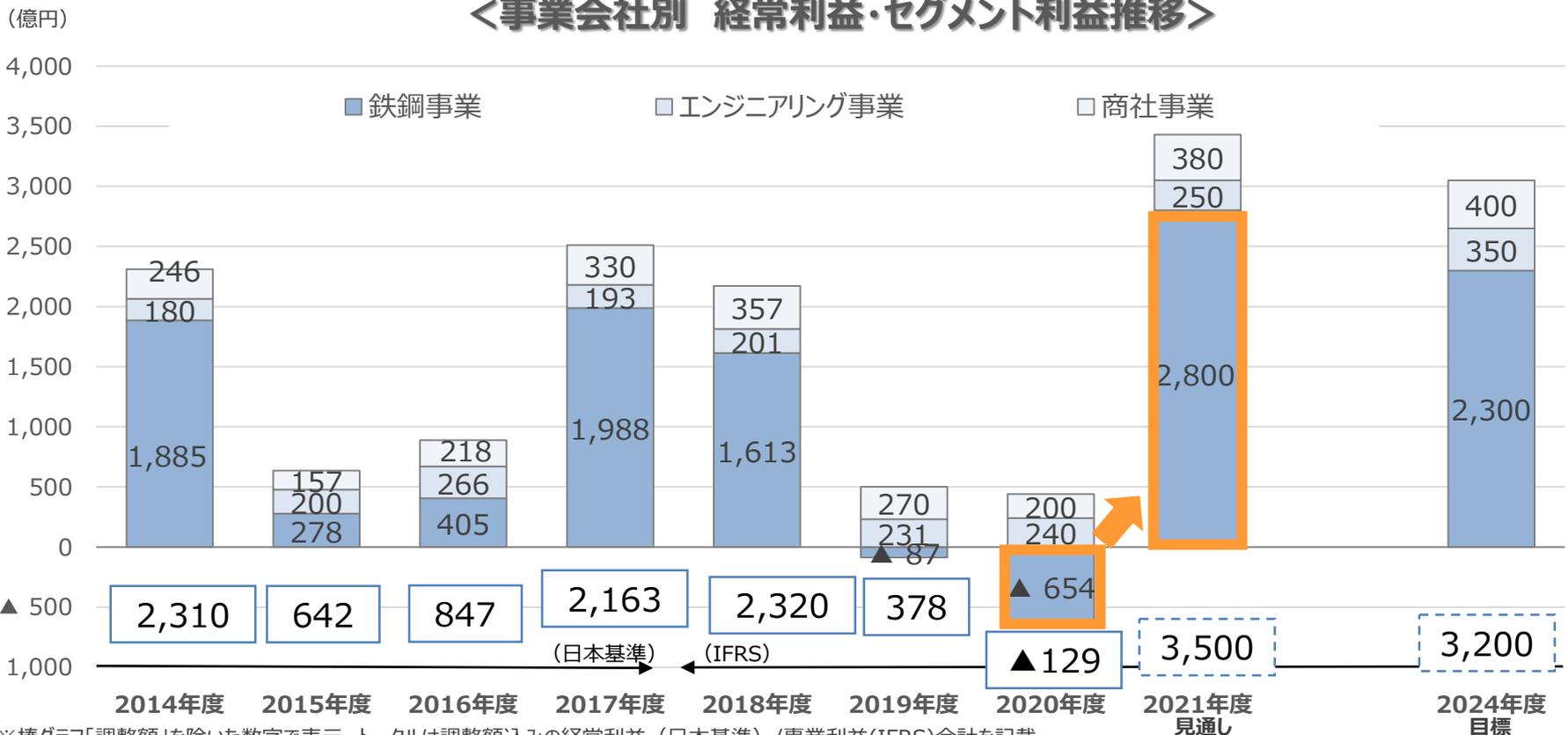


JFEホールディングスの業績推移 (経常利益/セグメント利益)

JFE

- 主力の鉄鋼事業は、新型コロナウイルス感染拡大影響により、20年度収益は大幅に落ち込んだが、**2021年度は国内外の鋼材需要の回復により、大幅な収益改善を見込む**
- 2024年度収益目標達成に向け、**コスト削減の着実な遂行と品種構成の高度化、販売価格の改善を進める**
- **エンジニアリング事業・商社事業は長期安定的に収益貢献**

＜事業会社別 経常利益・セグメント利益推移＞



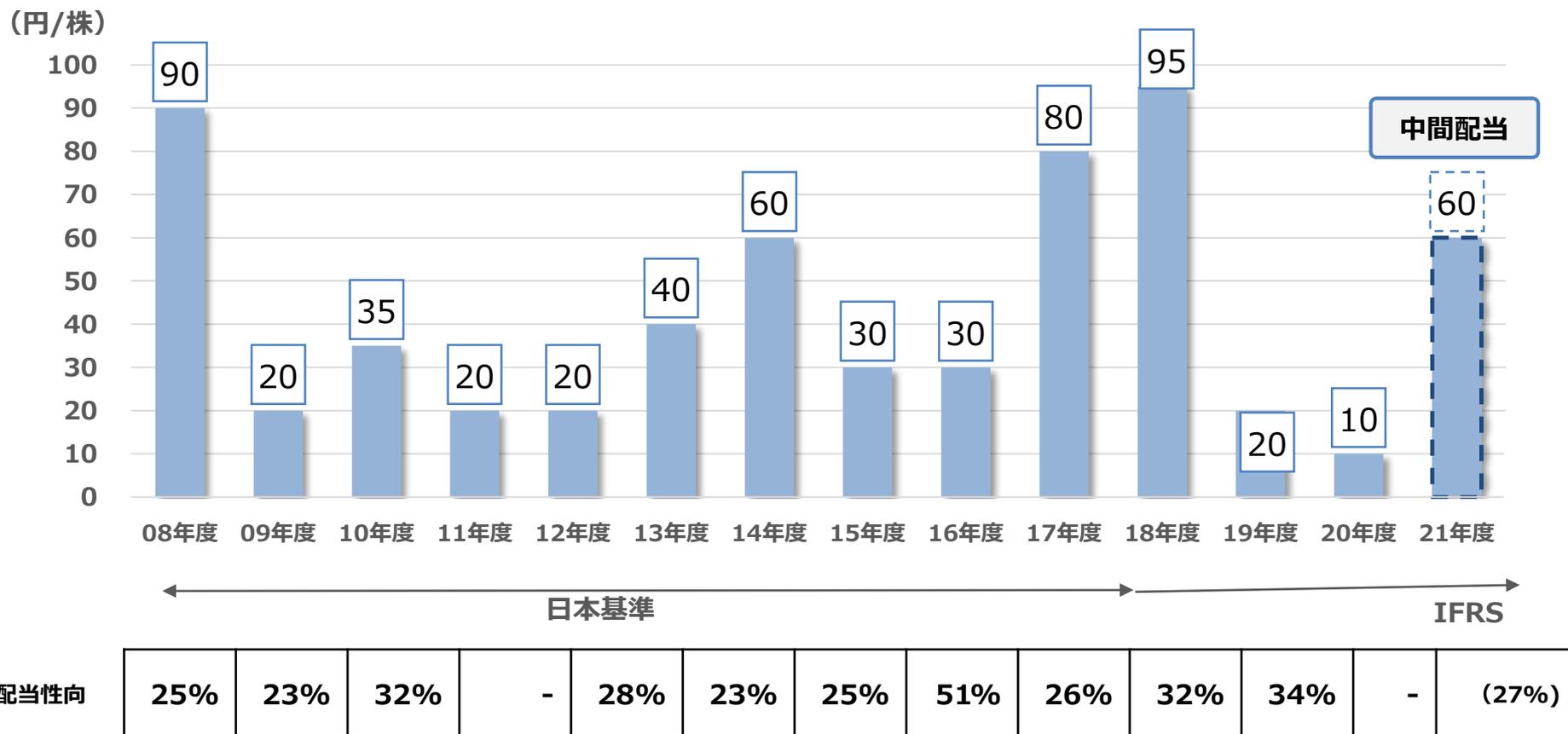
※棒グラフ「調整額」を除いた数字で表示。トータルは調整額込みの経常利益（日本基準）/事業利益(IFRS)合計を記載



JFEホールディングスの配当推移

JFE

- 02年度創立以来、配当は毎年実施 **(年間配当実績：1株あたり10円～120円)**
- 現中期経営計画期間中は**配当性向30%程度**を方針とします
- 2021年度中間配当は**60円/株**



※上期業績見通しで算定



直近のトピックス 足下の業績



トピックス 足下の業績(1)

JFE

- 2021年度JFEグループ連結事業利益見通し(8月公表)は3,500億円の黒字
- 前年度実績▲129億円の赤字から、3,629億円の好転

<業績見通しの背景>

■ 鋼材需要・供給

- コロナウイルス感染拡大による世界経済低迷、需要減少に直面した20年度から、**21年度は国内・海外ともに経済が回復し、需要回復**
- 経済悪化と需要減少を受け、各国鉄鋼メーカーは生産設備の一時休止で対応、**需要回復を受け生産数量を戻すも、休止設備の再開が追い付いていない**
- 脱炭素を見据えた、中国での**粗鋼生産抑制の動き**

⇒鋼材需給は非常にタイトになっている

■ 鋼材市況

鋼材需給の引き締めを受け、**海外鋼材市況は足下大幅に上昇**

■ 原料市況

強い鋼材需要を背景に**原料価格も大幅に上昇**

⇒原料価格の上昇はコストアップとして現れる一方、在庫評価差の益としても発現



トピックス 足下の業績(2)

JFE

- 今年度は中期計画の利益目標を超える見通しだが、一過性利益である棚卸資産評価差等を含んでいる
- 中期計画目標の安定的達成に向け、引き続き収益改善の取り組みを推進していく

単位：億円

	2020年度 実績	2021年度見通し	増減 対前年度	中期計画 2024年度目標
連結事業利益	▲129	3,500	+3,629	3,200
(棚卸資産評価差除き)	(211)	(1,930)	(+1,719)	(3,200)

利益増減内訳 (対20年度実績)

1. コスト削減	+300	・ 新規設備投資効果
2. 数量・構成	+700	・ 鋼材需要回復による生産数量増加
3. 販売価格・原料価格(スプレッド)	+430	・ 主原料価格上昇によるコストアップもある、販売価格上昇によりスプレッド改善
4. 棚卸資産評価差等	+1,910	・ 主原料価格上昇等による、一過性利益
5. その他	+114	・ グループ会社収益の改善 等
■ 鉄鋼事業(セグメント利益変動)	+3,454	} +3,629
■ イン지니어リング事業、商社事業、調整額等	+175	

■企業理念

**JFE グループ は
常に世界最高の技術をもって
社会に貢献します。**

■行動規範

挑戦。柔軟。誠実。

以上



＜シンボルマークの意味＞

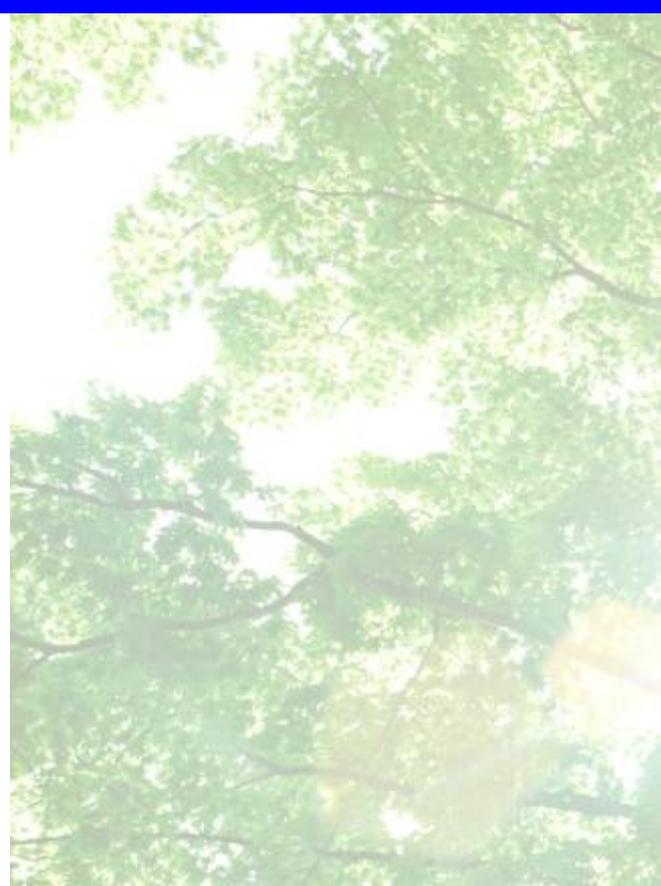
形：無限に回転し続ける球体は、あらゆる顧客との接点を広く求め、コミュニケーションを深めていくことを意味しています。

色：ブルーは信頼・奥深さを意味し、地球規模で活動していく企業、宇宙・空といった無限で広大な企業イメージを表現しています。

Copyright © 2021 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい

参考資料





参考：世界主要メーカーの粗鋼生産量

JFE

<製鉄所のシンボル「高炉」>

<世界主要鉄鋼メーカー粗鋼生産量（2020年）>

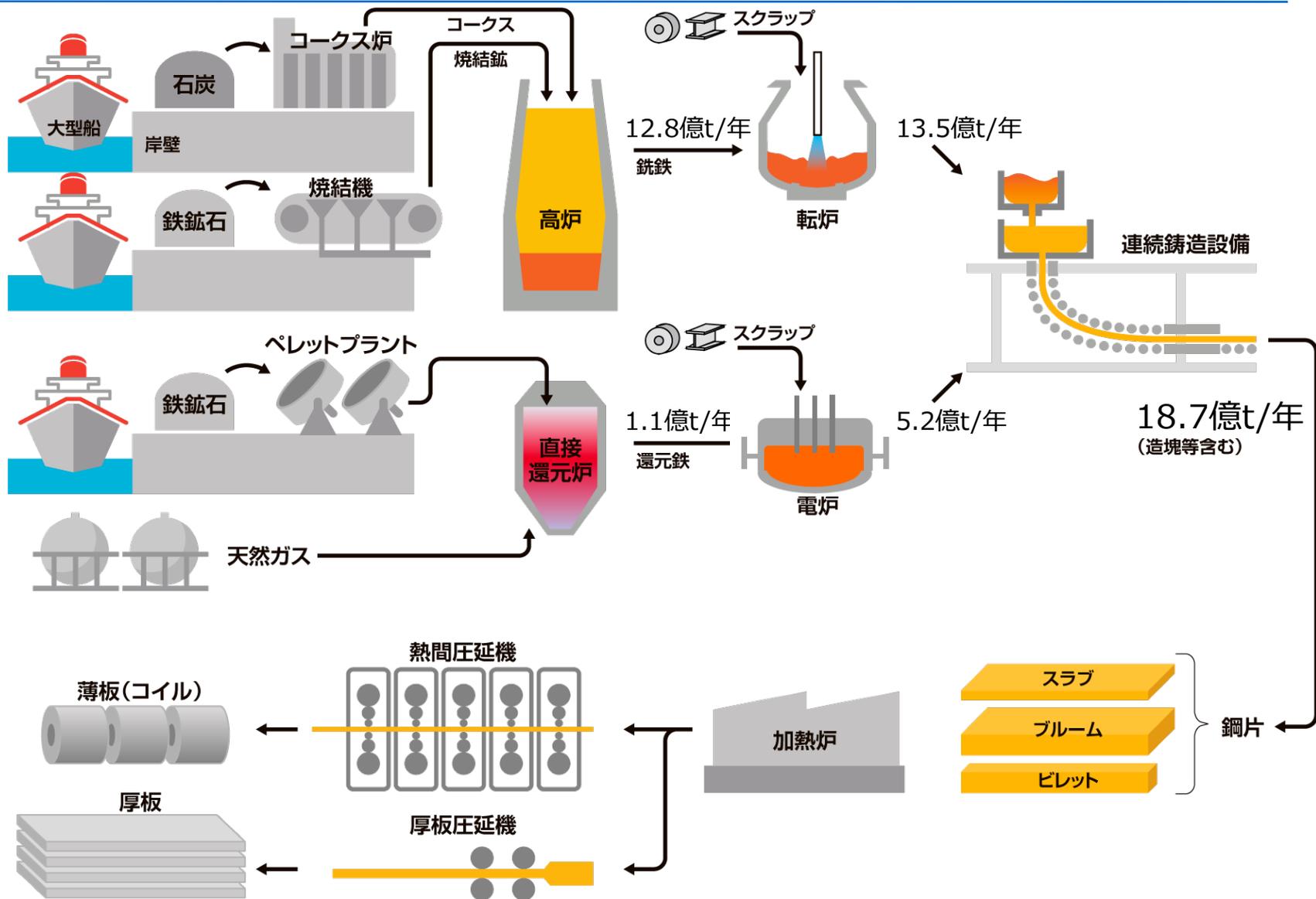


	前年 順位	会社名	国名	百万 t
1	2	中国宝武鋼鉄集団	中国	115.3
2	1	アルセロール・ミタル	ルクセンブルク	78.5
3	4	河北鋼鉄集団	中国	43.8
4	6	沙鋼集団	中国	41.6
5	3	日本製鉄	日本	41.6
6	5	POSCO	韓国	40.8
7	7	鞍山鋼鉄集団	中国	38.2
8	8	北京建龍重工集団	中国	36.5
9	11	首都鋼鉄集団	中国	34.0
10	10	山東鋼鉄集団	中国	31.1
11	13	徳龍鋼鉄	中国	28.3
12	9	TATA スチール	インド	28.1
13	14	湖南華菱鋼鉄集団	中国	26.8
14	12	JFE スチール	日本	24.4
15	15	ニューコア	アメリカ	22.7

(出典) World Steel Association



参考：鉄鋼製造プロセス



出典:生産量はWSA(世界鉄鋼協会)2019年統計データより



参考：動画で見るJFEグループリンク集

JFE

各事業会社の紹介動画コンテンツです。QRコードの読み込みでもアクセスいただけます！

JFEスチール会社紹介映像

https://www.jfe-steel.co.jp/movie/ja_long.html



JFEスチールバーチャル工場見学

<https://www.jfe-steel.co.jp/movie/plant.html>



JFEエンジニアリング会社紹介映像

https://www.youtube.com/watch?time_continue=2&v=Gso4OF1ScIE&feature=emb_logo



JFE商事グループ紹介映像

https://www.jfe-shoji.co.jp/video/2020image-movie_j.mp4

